



ふるさと北信濃

2008・冬号 vol.20

ホームページアドレス <http://www.hokusin.or.jp/>
北信州らぐらぐ倶楽部 <http://www.hokusin.or.jp/ragrag/>

発行/北信広域連合 〒389-2101 長野県中野市大字豊津2508 中野市豊田支所内 TEL.0269-38-5050 FAX.0269-38-5051 Eメール: kouiki@hokusin.or.jp

平成18年度 北信広域連合決算報告

平成19年10月北信広域連合議会定例会において、平成18年度一般会計・特別会計決算が認定されました。

一般会計

(単位:千円)

歳入 513,014

諸収入 588 (0.1%)

分担金及び負担金 356,405 (69.5%)

繰入金 148,233 (28.9%)

県支出金 875 (0.2%)

繰越金 6,913 (1.3%)

歳出 503,792

総務費 81,573 (16.2%)
民生費 201,629 (40.0%)

公債費 186,348 (37.0%)

議会費 450 (0.1%)

衛生費 33,792 (6.7%)

特別会計

(単位:千円)

特別養護老人ホーム

望岳荘

歳入 401,032
歳出 374,127

高社寮

歳入 317,890
歳出 296,537

千曲荘

歳入 275,366
歳出 255,074

いで湯の里

歳入 338,695
歳出 316,371

菜の花苑

歳入 310,730
歳出 282,959

ふるさと苑

歳入 343,181
歳出 328,456

養護老人ホーム

高社寮

歳入 123,637
歳出 120,883

千曲荘

歳入 127,843
歳出 124,785

ふるさと市町村圏

歳入 29,735
歳出 28,092

公平委員会

歳入 1,659
歳出 1,298



財産 (平成19年9月30日現在)

財 産	土 地	18,076m ²
	建 物	23,665m ²
	基 金	2,770,366千円

主な支出

(単位:千円)

■一般会計

- 広域案内看板設置(5箇所) 1,313
- 特別養護老人ホーム建設補助 (フランセーズ悠さかえ) 137,237
- 病院群輪番制病院運営事業 33,792

■特別養護老人ホーム会計

- 望岳荘
 - 屋根補修工事 1,260
 - 脱臭除菌器(3台) 375
 - 車椅子ほか生活関連備品 928

高社寮

- 居室改修工事 819
- 酸素増設工事 767
- 脱臭除菌器(3台) 375

千曲荘

- ペランダ手摺改修工事 1,680
- 全自動洗濯脱水機、乾燥機(各1台) 2,867
- 電動ベッド(5台) 1,124

いで湯の里

- 流し台給湯管等改修工事 924
- 特殊浴槽(1台) 3,318
- 汚物除去機(2台) 1,247

菜の花苑

- 脱臭除菌器(3台) 375
- 電動ベッド(4台) 899
- 車椅子(リクライニング 2台、スイング 3台) 503

ふるさと苑

- 手洗器増設工事 294
- 脱臭除菌器(3台) 375

■養護老人ホーム会計

高社寮

- 居室改修工事(2室) 693
- 居室用エアコン(13台) 867
- 電動ベッド(3台) 674

千曲荘

- 居室改修工事(4室) 1,680



北信広域連合人事行政の運営等の状況を公表します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

① 職員の採用及び退職の状況

採用者数	退職者数
0人	10人

(注) 採用者数はH19.4.1の採用者数であり、退職者数はH18.4.1～H19.3.31の退職者数です。

② 部門別職員数の状況(各年4月1日現在)

部 門	職員数	
	平成18年	平成19年
事務局	10人	10人
特別養護老人ホーム望岳荘	34人	32人
老人ホーム高社寮	39人	37人
老人ホーム千曲荘	35人	34人
特別養護老人ホームいで湯の里	30人	28人
特別養護老人ホーム菜の花苑	28人	26人
特別養護老人ホームふるさと苑	29人	27人
合計	205人	194人

(注) 職員数は一般職に属する職員。地方公務員の身分を持つ休職者などを含みます。嘱託職員、臨時職員、非常勤職員は除きます。

2. 職員の給与の状況

① 人件費の状況(普通会計及び特別会計の決算を合わせたもの) (平成18年度決算)

歳出額(A)	人件費(B)	人件费率(B/A)
2,632,374千円	1,013,930千円	38.5%

② 職員給与費の状況(普通会計及び特別会計の予算を合わせたもの)(平成19年度予算)

職員数(A)	給与額(単位:千円)			1人当たり 給与費(B/A)	共済費
	給料	職員手当	計(B)		
202人	616,679	301,593	918,272	4,546千円	158,121千円

(注) 職員手当には、退職手当を含みません。給与費は当初予算に計上された額です。

③ 職員平均給料月額と平均年齢の状況(平成19年4月1日現在)

平均給料月額	平均年齢
260,106円	39.0歳

④ 初任給(平成19年4月1日現在)

中 級	151,000円
初 級	138,400円

3. 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

① 勤務時間(標準的なもの)

勤務時間	休憩時間
8:30～17:30	12:00～13:00

(注) 利用者のサービス向上のため、早出・遅出・夜勤等細かなシフトがあります。

② 育児休業(平成18年度)

新規取得	9人
前年度から継続	18人

4. 職員の分限及び懲戒処分の状況

① 分限及び懲戒処分者数(平成18年度)

分限処分者数(休職)	1人
懲戒処分者数	0人

5. 職員のサービスの状況

① 職員の営利企業等従事制限に係る許可の状況(平成18年度)

申請件数	0件	承認件数	0件
------	----	------	----

6. 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

① 職員研修の状況(平成18年度)

研修名	内 容
職員体験研修	採用後5年を経過した職員を対象 広域連合以外の職場を体験し見聞を広めることにより、連合職員としての自覚を促すとともに、多様化の時代に対応できる職員を養成する 民間企業など異業種での実習及び研修を5日間実施する
職場活性化研修	年齢28歳から40歳までの職員を対象 現在の職場の課題を明確にし、活性化に向けた方策等を習得することにより、福祉施設従事者として対人・コミュニケーション能力の向上を図る
対人マナー研修	職員全員を対象、事務局及び6施設すべて現地において実施 地域住民及び施設利用者などとの対人関係に必要な基礎知識とマナーを習得することにより福祉施設従事者として対人・コミュニケーション能力の向上を図る
メンタルヘルス研修会	職場のメンタルヘルスについて、こころの健康づくりの研修を行うことにより精神的な不調を解消し、職務の効率の向上を図る

7. 職員の福祉及び利益保護の状況

- ・定期健康診断受診者数 196人 ・公務災害認定件数 0件 (平成18年度)
- ・地方公務員法第42条の規定に基づき北信広域連合職員互助会を設置し、福利厚生事業、給付事業を実施。



広域観光推進事業計画

1. 目的

平成18年度に行ってきた研究結果について、今年度広域観光ワーキンググループを立ち上げ、事業内容について検討を行いました。

これに基づき下記のとおり事業を推進します。

2. 平成19年度事業内容

①売れるホームページづくり

現在の「北信州らぐらく倶楽部」をリニューアルし、お客様が見て喜ばれるホームページを作成する。

また、県観光ホームページへバナー広告を出し、アクセス数の増加を目指す。

②おもてなし養成の実施

他市町村の情報についても知ることが重要であることから、広域管内の情景を知るための研修視察を実施する。

また、各市町村の観光資源情報を整備し、情報提供体制を整える。

③広域観光ポスターの作成

広域観光ポスターを作成し、JR駅、公共施設等に掲出し北信州というブランド(場所・地名)をアップさせる。

④情報誌等への広告掲載

配布範囲の広い既存の情報誌へ、広告を四季別に掲載する。新幹線LED広告を掲示し、長野県を訪れるお客様へ北信州をアピールする。

⑤ロゴのシール作成

北信州のロゴ、位置図のシールを作成し、各市町村の封筒へ張り出し知名度を上げる。

⑥観光ルートの設定

広域観光ルートについては、県も信州キャンペーンでルートの設定を行っているので、連携・調整を図りながら進めていく。

おもてなし養成のため、圏域内観光スポットの視察を行いました。

目的

北信広域連合では昨年度、広域観光推進方策研究会を立ち上げ広域観光のあり方について研究してきました。

また、今年度研究結果に基づき広域観光ワーキンググループを立ち上げ具体的に取組む事業について検討しました。そのなかで、自分たちが北信州を見つめ直し、再確認してこの地に訪れるお客様に対して心から伝わるご案内が出来るようにすることを目的として視察を行いました。

日時：平成19年11月20日(火)

場所：岳北地域(飯山市・木島平村・野沢温泉村・栄村)

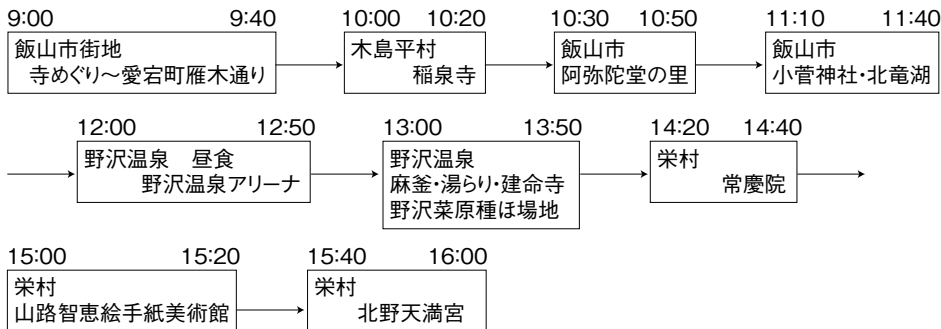
日時：平成19年12月4日(火)

場所：岳南地域(中野市・山ノ内町)・木島平村

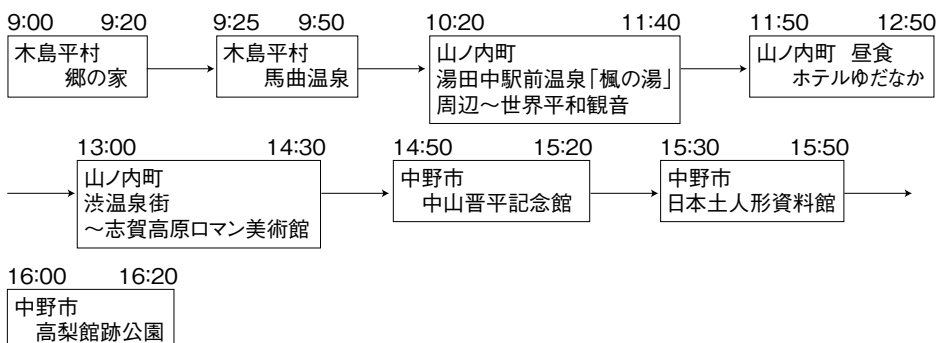
参加範囲：市町村等観光担当職員・観光協会観光案内所等職員

視察箇所：下記行程表のとおり

【岳北方面】平成19年11月20日(火)



【岳南方面】平成19年12月4日(火)





ご寄付ありがとうございました。

(北信広域連合表彰規則に基づくものを掲載させていただきます。)

(平成19年6月から11月まで)

- 老人ホーム高社寮(TEL0269-22-2449)
中野市 西原 正様
人形(ケース付) 故草野きみ作
- 特別養護老人ホームいで湯の里(TEL0269-33-5565)
中野市 匿名希望の方
金200,000円



障害程度区分認定調査員研修

1. 開催趣旨

障害者自立支援法が施行されて1年半が経過し、市町村の担当者からの要望もあり、広域連合で取り組んでいる「ふるさと市町村圏後期基本計画(H19~22)」『障害者福祉の充実』の施策の一環として、認定調査員研修を実施しました。

2. 目的

認定調査員がより的確、迅速な調査を実施していくための研修を行うことで、調査スキルの向上と共に調査員相互の交流と情報交換、さらには市町村間の連携強化を目的として実施しました。

3. 研修の内容について

開催日:平成19年11月16日(金) 午後1時30分~午後4時20分

会場:中野市豊田支所 大会議室

対象者:市町村の障害程度区分認定調査員(参加者11名)

【内容】

- 講演会 講師 福岡 寿 氏(北信圏域障害者生活支援センター所長)
テーマ 「障害程度区分認定のあり方及び今後の障害者福祉サービスの方向性について」
- グループ討議 コーディネーター ④グループ 市村 綾子 氏(高水福祉会)
⑤グループ 小巻 佳人 氏(高水福祉会)

講演会では障害者自立支援法の成立経過等も交えながら、今後の障害程度区分の変更すべき方向性について、わかりやすくお話ししていただきました。

またグループ討議では、2グループに分かれて「認定調査における疑問点・問題点について」活発な意見交換が行われました。

